

好評だったホヤクイズを交えた射的



経営・庄子ゼミ

はやっほー祭でホヤをPR

観光やまちづくりを学ぶ経営学部
の庄子真岐ゼミが、6月29日に石巻
市内で開かれた「はやっほー祭20
25」で、三陸地方の特産品である
ホヤのPRに一役買った。
「はやドル」として活動するシン
ガー・ソングライターの萌江さんが
主催する人気の地域イベント。3回
目を数える今年は、かわまち交流広
場をメイン会場に、ステージパフォ
ーマンスやホヤ釣り体験などが行わ
れ、1万人を超える来場者でにぎわ
った。
ゼミ生は、萌江さんがパーソナリ
ティーを務めるラジオ石巻の番組に
も出演するなど、企画・宣伝・運営
などに広く協力。当日は、防災やホ
ヤについてのクイズと竹射的を組み
合わせた体験型ブースなどを出店し
た。訪れた子どもたちは、ゼミ生の
サポートを受けながら笑顔でゲーム
を楽しんでいた。
大沼夏妃さん(人間4・宮城県登
米高)は「お客さんと直接触れ合っ
た楽しさや臨機応変に対応する大切さ
を学ぶことができた。来年も機会が
あれば、より多くの方に喜んでもら
える企画にしたい」と話した。

動物生態学研 × 骨格標本愛好会 動物の骨展示と解説 いしのまき子ども未来スクール

理工学部の動物生態学「動物の骨を見てみよう」
研究室(指導:辻大和教
授)と文化系サークルの
骨格標本愛好会(代表:
田口育二 理工2・秋田県
秋田令和高)が6月28
日、イオンモール石巻で
22年度から実施してい



骨格標本を用いて来場者に特徴や仕組みを解説

「動物の骨を見てみよう」
と題したワークショップ
を開いた。
石巻地域の子どもたち
に豊かな学びの場を提供
することを目的に、20
22年度から実施してい

る「いしのまき子ども未
来スクール」の一環で、
動物好きの親子約500
人が来場した。
会場には、石巻市内に
生息するさまざまな動物
の全身骨格や頭骨を展示
した。愛好会のメンバ
ーらは日ごろの活動成果を
生かし、骨の特徴や動物
が体を動かす仕組み、ロ
ードキル(野生動物の交
通事故)の問題について
分かりやすく解説。子ど
もたちは楽しみながら、
生物学への理解を深めて
いた。

東日本大震災の犠牲者
を追悼し、震災の教訓を
後世に伝えるため、福島
県南相馬市では「鎮魂の
森」を築く活動が続けら
れている。6月8日、同
市で開催された「南相馬
(宮城県気仙沼市、大槻
市鎮魂復興市民植樹祭」
で、学生6人と教員が植
樹ボランティアとして活
動した。
参加したのは、理工学
部4年次の志賀柚月さん
(宮城県気仙沼市、大槻
市鎮魂復興市民植樹祭)
を追究し、震災の教訓を
後世に伝えるため、福島
県南相馬市では「鎮魂の
森」を築く活動が続けら
れている。6月8日、同
市で開催された「南相馬
(宮城県気仙沼市、大槻
市鎮魂復興市民植樹祭」
で、学生6人と教員が植
樹ボランティアとして活
動した。
参加したのは、理工学
部4年次の志賀柚月さん
(宮城県気仙沼市、大槻
市鎮魂復興市民植樹祭)



植樹活動に取り組む学生たち

愛叶さん(宮城県仙台育
英学園高)、3年次の佐
藤諒弥さん(高卒認定試
験、2年次の下条歩夢さ
ん(茨城県下館第一高)、
三宅穂波さん(岩手県水
沢高)、人間学部2年次
の中澤謙人さん(宮城県
気仙沼市)と、機械
工学科の高橋智准教授。
1000人超の参加者
とともに、震災で発生し
たガレキ(再生資材)を
活用した土手に1万50
00本の苗木を植え、津
波から命を守る防災林に
成長することを願った。
三宅さんは、「未来の
森づくりに貢献している
という達成感を得ること
ができた。今後も積極的
に環境保全に関わり、仲
間と一緒に活動を広めて
いきたい」と話した。

シグマ・ソサエティは、
世界的な奉仕団体である
国際ソロプチミストが後
援する学生ボランティア
組織で、奉仕の志を持つ
青少年に活動の場を提
供。式では、国際ソロプ
チミスト石巻サン・ファ
ンの寶鈴子会長から学生
にバッジが贈られた。
阿部知顕学長が「ボラ
ンティアサークルの活動
は、建学の精神を体現し
ている。楽しく元気づく
活動してほしい」と
と激励すると、サ
ークル代表の下条
歩夢さん(理工2・
茨城県下館第一
高)は、「縁を大切に
に、報恩奉仕の精
神で活動していき
たい」と、力強く
決意を述べた。

サークルには約
50人の学生が所
属。さまざまな活
動を通じて、地域
貢献に取り組む。

今年度から活動をスタ
ートしたボランティアサ
ークル歩(あゆむ)の
「シグマ・ソサエティ入
会式」が6月5日、本学
学生ホールで行われ、サ
ークルメンバー18人が出
席。報恩奉仕の実践を誓
った。

賞会長からバッジを受け取るメンバーたち

猪狩京太さん(理工
3・宮城県仙台二華高)
は、「年齢の近いネーテ
ィスプレイヤーと話せる
貴重な機会だったので、
積極的に会話に参加し
た。とても楽しい時間を
過ごすことができた」と
感想を述べた。

シグマ・ソサエティは、
世界的な奉仕団体である
国際ソロプチミストが後
援する学生ボランティア
組織で、奉仕の志を持つ
青少年に活動の場を提
供。式では、国際ソロプ
チミスト石巻サン・ファ
ンの寶鈴子会長から学生
にバッジが贈られた。
阿部知顕学長が「ボラ
ンティアサークルの活動
は、建学の精神を体現し
ている。楽しく元気づく
活動してほしい」と
と激励すると、サ
ークル代表の下条
歩夢さん(理工2・
茨城県下館第一
高)は、「縁を大切に
に、報恩奉仕の精
神で活動していき
たい」と、力強く
決意を述べた。

インターナショナル愛好会 石巻在住・ウェバーさんと交流



国際交流ラウンジでウェバーさん(右)と交流する学生

異文化交流を目的に活
動するインターナシヨナ
ル愛好会が6月19日、学
生会館の国際交流ラウン
ジにアメリカ人のジョサ
イア・ウェバーさんを招
き、交流会を開いた。
3月に来日し、現在は
石巻市内で英会話講師や
宣教師として働くウェバ
ーさんの「同世代の若者
と日本語や英語を使って
交流したい」という希望
を受け、愛好会のメンバ
ーが企画した。
当日は、自己紹介をし
た後、英語を交えたクイ
ズ形式のゲームを実施。
テーマはアニメや地理な
ど多岐にわたり、出題者
と回答者が入れ替わりな
がら、和気あいあいと交
流を楽しんでいた。

猪狩京太さん(理工
3・宮城県仙台二華高)
は、「年齢の近いネーテ
ィスプレイヤーと話せる
貴重な機会だったので、
積極的に会話に参加し
た。とても楽しい時間を
過ごすことができた」と
感想を述べた。

東北地区学生体育大会
6月7、8日に本学弓
道場などで開かれた第76
回東北地区学生体育大会
で、弓道部が団体3位に
輝いた。
予選3位で決勝トーナ
メントに進んだ弓道部
は、準決勝で惜しくも東
北大に敗れたものの、3
位決定戦で山形大に勝利
し、3位入賞を果たし
た。
個人戦では、5月の東
北地区記録会でも好成績
を残した1年次生コンビ
がそろって決勝に進出。
金来真さん(人間・宮城
県工業高)が5位タイ、
阿部真由さん(人間・山
形県新庄北高)が7位タイと健闘した。



本学弓道場で競技する部員たち

生物分類技能検定 試験対策を実施



理工学部生物科学科では、野生生物や自然環境の調査・保全に
携わる人材の育成を目指し「生物分類技能検定」の資格取得を支
援している。7月3日には、3級を受検する学生を対象とした模
擬試験が行われた。試験後には、根本智行教授による解説が行わ
れ、受講した学生22人は、真剣に講義を聴いた一写真。